

導入事例

液晶ディスプレイ
LCD-CWQ
341SDB-Fディスプレイで変わる!
ペーパーレス&DXで進化する税理士事務所

佐賀県佐賀市、武雄市を拠点に中小企業のビジネスドクターとして企業をサポートする税理士法人フレアス。紙から解放されたオフィス。そして、ペーパーレス化とDX推進は、税理士事務所の働き方を大きく変えています。その鍵となったのは「ディスプレイ」。複数画面の活用で業務効率を高め、テレワークやフルフレックスを実現した事務所の取り組みを紹介します。同法人の代表である税理士の江口 賢輔様に詳しくお話を伺いました。

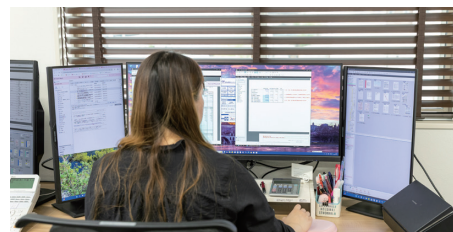
導入商品

超ワイド34型
LCD-CWQ341SDB-F23.8型ワイド液晶
LCD-C241DB-F15.6型モバイルディスプレイ
LCD-CF161XDB-MT

ペーパーレスで働き方改革を加速!

—— ペーパーレスやDX化に取り組んだ背景を教えてください。

江口様: 今後の事務所の成長には、多様な人材とライフスタイルに対応した柔軟な働き方、つまり「ワークライフバランス」の実現が欠かせません。そのためには、DX化が必須です。なかでもペーパーレス化はDXの中心的な取り組みであり、当事務所ではコロナ禍以前から申告書や帳簿、領収書などの書類をすべてデータ化してきました。コロナ禍で、さらに加速し、業務効率と働きやすさの両立を実現しています。



複数ディスプレイによる効率化&モバイルディスプレイでどこでも快適!

—— ディスプレイ導入のきっかけについて教えてください。

江口様: ペーパーレスを進めると、画面上で複数の資料を同時に確認する必要が出てきます。スタッフ一人あたり2~3台のディスプレイを標準化し、会計ソフト・資料・チャットを並べて作業できる環境を整えました。これにより、画面切り替えのストレスがなくなり、作業効率は大幅に向上しました。さらに、モバイルディスプレイも全員に配布しました。外出先や在宅勤務でも、どこでも快適に仕事ができるようになりました。

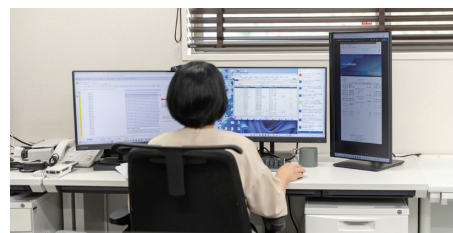
—— 縦表示の方も多そうですね。また、フリーアドレスも採用されているとか?

江口様: 税理士事務所では縦画面表示が欠かせません。さらに、フリーアドレスを導入しているため、ディスプレイは高さ調整や回転ができるタイプを選んでます。また、2台並べていたディスプレイを超ワイドディスプレイに入れ替えたことで、配線やスタンドが1本にまとまり、デスク周りがすっきりしました。さらに、超ワイドなら1台で2台分のように、複数のウィンドウを横並びで表示できます。ベゼルがないため視認性もいいですね。

DXで、地域とともに未来を創る事務所へ

—— 様々な取り組みをされていますが、最後に、事務所としての今後のビジョンを教えてください。

江口様: 私たちは「あなたの明日を応援する」という理念を大切にしながら、地域に根ざした総合的な税理士事務所として成長を続けています。今後は、DXの推進にさらに力を入れていきます。具体的には、ペーパーレス化やクラウド活用のさらなる拡大、AIの活用なども検討を進めつつも、もっとも重視するのは人材育成です。スタッフ一人ひとりが自分らしく活躍できる組織づくりを目指し、IT環境の整備や教育体制の充実など、先進的な取り組みを続けていきます。



取材にご協力いただいたご担当者様

税理士法人フレアス
代表社員税理士
江口 賢輔 様

CLIENT DATA

導入法人/税理士法人フレアス
所在地/佐賀県佐賀市大財6丁目4番63号